

## 木曽三川流域の生態系ネットワーク形成に関連する地域の取り組み発信

暑くなってきましたね!夏本番がこれからと思うと、もうふわふわのかき氷が食べたくなくなってきました。皆さん、熱中症だけでなく、室内外の気温差による体調不良など、ご自愛ください。さて、今回のエコネットニュースレターは、木曽三川流域生態系ネットワーク関係者が開催したイベントに関する報告とエコネット応援団の新規加入団体の紹介を掲載しています。エコネット応援団参加団体がどんなイベントを行っているのかぜひチェックしてみてください。

### ハリヨ生息地環境調査体験会を開催しました!

事務局&はりんこネットワークからの報告  
岐阜県大垣市 2026.5.31[日]

令和8年5月31日に、地元企業や若手がハリヨ保全活動の現場で直接活動を体験し、ハリヨ保全活動団体と交流することを目的とし、「ハリヨ生息地環境調査体験会」を開催しました。このイベントにより、ハリヨ保全活動団体の連携による活動の継続と活性化につながればと考えています。

当日は、ハリヨ保全活動団体はじめ、地域住民の方や小学生、大学生、企業の方々など、35名の方にご参加いただきました。保全活動の意義の説明、環境調査体験等の後に、小学生や一般の方、ハリヨ保全活動団体、企業、学識者等、参加者間で活発に意見交換が行われました。

#### 〈はりんこネットワークの北川代表からのコメント〉

今回「ハリヨ生息地環境調査体験会」を開催し、ハリヨの生息環境を色々な角度から見る必要性を感じました。計測した水温の「16.8℃」は調査時点の状況であり、池や川の状態を確認するためには、もっと多岐にわたる調査の継続が必要だと思いますが、長期間継続するとなると、とても大変な事だと感じました。今までは単純に水がきれいな方が良いと言われてきましたが、ハリヨの餌との関係から考えれば、単純にきれいなだけではよくなく、餌の無い池や川ではホタルも育たないのではないかと考えてしまいます。

今回のような調査をもとに、繁殖の良かった池の時期等と、悪かった条件を比較検討したい。どうしたらハリヨにとって良い条件になるのかを「環境DNA調査」依頼をして見いだせれば、今後もハリヨは生き続けられるだろうと期待します。



| 【ハリヨ生息地環境調査体験会】プログラム      |                                                                                                        |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2026年5月31日(日) 12:20~16:00 |                                                                                                        |
| 12:20                     | 開会                                                                                                     |
| 13:30                     | ①ハリヨと湧水、調査の意義について                                                                                      |
| 14:45                     | ②環境調査体験<br>・養蚕城公園の湧水場について<br>・ハリヨの生態、外見の観察<br>・調査方法の説明<br>・水質・水温測定(2回に分かれて実施)<br>・体験(水中状況の観察、湧水の観察等紹介) |
| 15:30                     | ③池の生息地との比較                                                                                             |
| 16:00                     | ④調査結果まとめ、意見交換                                                                                          |
| 16:30                     | 閉会                                                                                                     |

▲当時のプログラム



▲はりんこネットワーク北川代表による趣旨説明



▲水の汚れを測るバックテストの体験



▲採取した底質の確認



▲ハリヨや湧水池に生息する生物の展示

### イタセンパラを守ろう! 「第18回木曽川合同パトロール」を開催しました!

木曽川水系イタセンパラ保護協議会事務局からの報告  
愛知県一宮市、岐阜県羽島市 2026.5.17[日]

木曽川水系イタセンパラ保護協議会では、令和8年5月17日(日)に第18回目となる「木曽川合同パトロール」を開催しました。このイベントは、イタセンパラの保護意識の普及啓発・密漁監視を目的として、年に一回、地元の方と一緒にを行っています。

イタセンパラの基礎知識や守るための取組みを学んだ後に、実際に木曽川のワンドを見学しました。その後はみんなで河川敷を歩き、イタセンパラ密漁防止のためパトロールを行いました。途中、河川利用者に対して参加者から保全活動の取組を紹介し、イタセンパラ密漁防止に関するチラシを配りました。

今回は、一宮市側、羽島市側の2地区での同時開催で、当日は30℃を超える暑さのなか56名にご参加いただきました。一宮市側では、昨年に続き「三世代交流木曽川ウォーキング大会」の参加者にもイタセンパラについて説明しました。参加者同士での意見交換も行われ、非常に有意義な一日となりました。

今後も、イタセンパラ保護のため皆様のご協力をお願いします!



▲イタセンパラの生息地であるワンドの整備説明



▲一宮市側の様子



参加者の皆さんに見守りパトロール隊の缶バッジを配布しました!



▲羽島市側の様子

## SDGs・カーボンニュートラル×子どもと未来の『みずほ環境フェア2026』を開催しました！

瑞穂市からの報告  
岐阜県瑞穂市 2026.6.7[日]

瑞穂市民センター及び周辺駐車場を会場に瑞穂市内で環境問題に取り組む団体・企業様、SDGsの達成に向けて市とともに取り組んでいる「瑞穂市SDGsパートナー」企業様に体験型イベントをご用意いただき、市民が環境問題について楽しく学べるイベントとなりました。

ハリヨ講演会では、岐阜協立大学 森 誠一教授より瑞穂市が市の魚に指定したハリヨを元に環境問題についてわかりやすくご講演いただき、多くの方より好評をいただきました。

また、魚類剥製作家FISH CRAFT HIKARU（前城 光琉）さんによる特別展示においては、多くの方が足を止めて作品をひとつひとつ鑑賞されていました。来場者の中には、熱心に質問をされる場面も多くみられ、子どもから大人まで幅広い年齢層の方が興味を持たれていました。

電気自動車やパッカー車の展示においては、雨にもかかわらず多くのお子様に乗車体験、はたらくくるまの動きなどをご覧いただきました。写真撮影される方も大変多く、貴重な体験ができたのではないのでしょうか。

瑞穂市では今後もみずほ環境フェアの開催などにより、市民、事業者、行政がそれぞれの立場で環境問題に取り組めるための周知啓発を進めてまいります。



▲木曽三川流域エコネット応援団事務局もブース出展しました



▲みずほ環境フェア2026のチラシ

## 第2回木曽川WEST COASTミーティングを開催しました！

一般社団法人タキドキからの報告  
愛知県一宮市 2026.5.25[月]

木曽川流域で活動する団体が一堂に会する「第2回木曽川WEST COASTミーティング」を開催いたしました。

本ミーティングは、各拠点で活動する団体の想いや課題を共有して「ゆるやかに繋がる」こと、そして木曽川を中心に人やまちを「共に育む」ことを目的としています。当日は全21団体が参加し、それぞれの活動紹介やグループディスカッションを実施いたしました。抱える課題や現状を踏まえた新たなイベント案を企画するなど、共創の第一歩となる大変貴重な時間となりました。

地域や木曽川の価値を熟知した活動家の皆様が集い、「木曽川愛」を熱く語り合えたこと自体が、非常に価値のある確かな一歩です。

今後もこのゆるやかな繋がりを大切にしながら、木曽川の未来を共に考え、共につくっていきましょう。



▲活動紹介の様子（志民連いちのみや）



▲グループによる発表の様子（架空のイベントアイデアづくり）



▲参加した21団体による集合写真



### エコネット応援団に新しく仲間が加わりました！

新しく参加した団体とともに、人と地域の連携促進を継続していきます。

#### 一般社団法人タキドキ

木曽川流域における環境保全と地域資源の価値向上を目的に活動している団体です。勉強会や地域提案プロジェクト、団体間の交流事業を通じて多様な主体が関わる場づくりを行い、持続可能な地域づくりに取り組んでおり、非常に多様な方々が携わっています。主催イベントも多数行っていますので、連携の機会がたくさんあるかと思えます。ぜひコラボしたイベント、開催してはいかがでしょうか。

#### TSUCHIYA 株式会社

揖斐川支流の河川や農業用水路を利用し、児童生徒対象に毎年自然観察会を実施している団体です。湧水池がたくさんある、大垣市に本社を構える総合建設企業様で、湧水池における環境保全なども行っています。今後、ハリヨ保全団体をはじめ、他団体との連携で活動の幅を広げていっていただけたらと思います。

#### 一般財団法人土屋環境教育振興財団

TSUCHIYA 株式会社の関連財団で、次世代を担う子どもたちに地球環境の重要性を伝える環境教育事業を行い、さらに豊かな環境の保全・復元・研究に寄与する事業を行っている団体です。揖斐川支流河川では、毎年、水生生物による水質評価法、いわゆる「カワゲラウォッチング」を行ってられます。環境に関する専門的な知識をお持ちですので、環境教育や調査体験などで連携を広げていただけたらと思います。

#### 【編集後記】

令和8年になってから、エコネット応援団に5つの団体が加入しました。エコネット応援団をはじめ、どんどん取り組みを盛り上げていきたいところですね！もっともっと地域連携が広がっていくよう、事務局でもサポートを継続します。



木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会（事務局：国土交通省木曽川上流河川事務所）は、流域の自然や文化を保全・活用し、地域の魅力向上と人と自然、人と人の絆を深めることを目的とし、生態系ネットワーク形成に関する取り組みを推進しています。協議会では、自然環境を保全・再生・創出してつなげる「生態系ネットワーク形成」に関連する活動を行う「木曽三川流域エコネット応援団」を結成し、エコネット応援団の情報共有を通じて地域の交流・協働を促進しています。

SNSで情報を発信中！



Instagram



Facebook



### 木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会事務局

国土交通省 木曽川上流河川事務所 流域治水課

岐阜県岐阜市忠節町5-1

e-mail: cbr-kisjoyo-chosa@mlit.go.jp

tel: 058-251-1125



ニュースレターのバックナンバー  
（木曽三川流域生態系ネットワーク HP 内）